

(参考)

1 タバココナジラミ (学名：^{ベミシア タバキ}*Bemisia tabaci*)

熱帯や亜熱帯地域を中心に様々な野菜類や園芸植物に寄生する重要害虫で、トマト黄化葉巻病などのウイルスを媒介します。

平成21年6月現在、35都府県でトマト黄化葉巻病の発生が認められており、愛知県でも最も被害が見られる時期(9~11月)にはトマト栽培施設の約8割で発病し、生産現場では大きな問題となっています。



2 バイオタイプ

外観ではほとんど区別できませんが、遺伝子型が異なる系統のことです。タバココナジラミには約40種類のバイオタイプが存在しますが、国内にはバイオタイプJpL(在来系統)に加え、バイオタイプB(平成元年国内初発)、バイオタイプQが生息しています。

バイオタイプQは、平成17年2月に日本で初めて発見されました。バイオタイプBと同様にトマト黄化葉巻病を媒介します。最近では、キュウリ退緑黄化病を媒介することも明らかになりました。

3 LAMP法

LAMP法とはLoop-mediated isothermal amplificationの略で、ループ状の構造をとりながら、目的とする遺伝子を増幅させる方法です。LAMP法は迅速・簡易・精確に遺伝子を増幅する優れた特長を持っています。

これまで遺伝子の増幅には、^{ピーシーアール}PCR法(polymerase chain reaction)が用いられてきました。しかし、この方法では特別な機器が必要な上に、遺伝子の識別に1日かかります。

現在、遺伝子の識別に利用されている方法には以下のような特徴があります。

	シーケンス法	PCR法	LAMP法
識別に必要な時間	1週間	1日	1時間
操作性	特別な機器が必要	特別な機器が必要	簡易な機器で可能

愛知県農業総合試験場では、LAMP法を農業分野に取り入れ、病害診断を中心に研究を進めてきました。その成果として、平成17年には「トマト黄化葉巻病診断キット」(株式会社ニッポンジーン)が商品化されています。

4 タバココナジラミ バイオタイプQ検出キット

(1) 販売開始日

平成21年7月24日(金)

(2) 販売価格

1キット(検査用チューブ24本入り) 17,200円(税抜き)

(3) 入手方法

インターネットで販売(URL:<http://genome.e-mp.jp/>)

(4) 販売元

株式会社ニッポンジーン

(5) 問い合わせ先

ア 販売に関する問い合わせ

株式会社富士通システムソリューションズ

ソリューション営業本部 スマートビジネス推進部

所在地:東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

電話:03-5322-5424

イ 技術的な問い合わせ

株式会社ニッポンジーン

所在地:富山県富山市問屋町1丁目8番7号

電話:076-451-6548